

店のアーケードに入って、悪い足をひきずり、ふらふらしながら八カ月を過ごしました。そして、とうとう人の軒先で倒れてしまいました。

その時から一カ月過ぎて、ふと目をさますと久米田精神病院で酸素吸入をしていました。久米田病院を四カ月で退院すると、今度は足の手術をしなければなりません。そこで西成区役所の方が阿倍野区の越川病院に入れてくれ、二〇日ほどで退院するとき、「羽田君は病院におくとまた飲むから、今度は酒の飲めない所に入れる」と言

って、連れてこられたのが吹田市の大阪市立弘済院でした。それから七カ月。一生懸命に頑張って、自分で仕事を探すまでになりました。最初の一カ月間はガードマンをしましたが、とても足が痛いので、次に下新庄の工場に行き、昼は一生懸命働き、夕方は自動車学校に行き、夢中になってやりました。

その成果があり、今年の五月二五日に免許証が交付されました。本当にうれしかったです。自分の目から涙がこぼれます。一生このことは忘れられないと思います。酒をやめて一生懸命しんぼうすれば、必ずうれしい時が来ると信じています。

弘済院を出所して二七年ぶりに親元に帰ってみました。ところが、親は本当によろこび、涙ばかりで話すことすら出来ません。十日間ぐらい泊り、大阪に帰って来ました。帰ってみると、本当に急に足が痛くなり、現在社会医療センターのベッドの上で毎日、自分の希望に心をふくらませながら手当を受ける身になっていきます。一日も早く退院して、もう一度弘済院に帰り、自分のアパートを借りるまで頑張りたいとその事ばかり考えています。

西成地区で本当に苦勞したことを忘れず、酒を飲まず、自分は働かないといけないと思います。

釜ヶ崎の冬にあたたかい手を

今年も間違いなく厳しい冬が訪れました。釜ヶ崎の日雇労働者は暮から正月にかけて仕事がなくするため、食を失って危険にさらされ、ドヤ代が払えず寒風の下で青カン(野宿)する者、凍死する人があつとを絶ちません。昨年の統計によると、釜ヶ崎およびその近辺での行路病死者は年間三〇〇人、青カン者は一日平均一四〇人でした。そのため、私たち釜ヶ崎にかかりをもってきたキリスト者はキリスト教釜ヶ崎越冬委員会を組織し、次のような越冬支援活動を行います。一人でも多くの人が参加してください。

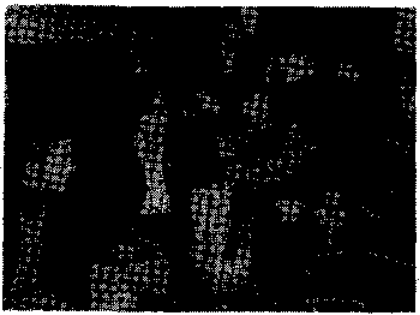
- (1) 炊き出しへの支援カンパ
- (2) 夜間医療パトロール
- (3) パザール、衣料整理
- (4) 越冬セミナー

(1)については、釜ヶ崎日雇労働組合を中心に行われている炊き出しへの支援ですが、三〇〇万円を目標に、すでに全国二千余の教会

学校・修道会へ要請ビラを発送し12月23日現在一〇〇万円を突破していますが、引き続きお願ひします。

- (2)については、12月26日、27日、28日、毎日午後11時より二時間程度。遠方の人は希望の家に宿泊もできます。ただ、例年ですと、パトロールで保護した人は、公園のたき火のまわりに連れてきました。が、公園が閉鎖されていますのでしんどの活動になりそうです。
- (3)については、毎水曜日前八時、ふるさとの家の前でパザールを行い、その後全国から寄せられた衣料を整理します。安くで衣料を提供するとともにカンパ活動の一環です。
- (4)については、1月1日午後2時~1月3日午後9時、希望の家を会場に開催します。プログラムは、1日が釜ヶ崎とはなにか、2日は日本の差別構造、3日が今後の活動です。

釜ヶ崎通信 (日記より)



▼12月1日 半田教会の新美邦弘・早苗夫妻来所。

▼12月4日(日) あすなる断酒会四周年記念集会。

▼12月6日 るうてるホームに佐々木マサさんを訪問。

▼12月11日(日) 大阪教会で関西地区教会協議会。釜ヶ崎越冬問題も出る。理解が深められ感謝。

▼12月12日 部落解放センターにて釜ヶ崎越冬闘争連帯集会。約一七〇人。山谷、寿の寄せ場からも参加あり。

▼12月13日 住之江ボランティア奉仕。大阪公園局、越冬実が炊き出しを配っていた海公園を閉鎖。野鳥の会が使えないので、炊き出しも当分希望の家で行う。第三回越冬委員会。越冬実とパトロール、医療センターへのつきそいを打ち合わせる。パトロールは夜11時に行くことを決定。大阪市民生局、越冬について現実的対処の方法がないことを理由に、要望書の回答を拒否。

▼11月29日 全国二千余の教会修道会へカンパ協力要請のビラ発送。第二回越冬委員会。12/12釜ヶ崎越冬闘争連帯集会への参加、越冬セミナー、専従者についてなどを決める。

▼11月30日 ふるさとの家の前で西成ベビーセンターのバザー。朝六時半から二時間半で三万円の収益。

▼12月14日 天王寺教会婦人会奉仕。

▼12月16日 希望の家クリスマス。三八人。イエズスの小さい姉妹のキャロル奉仕。

▼12月17日 豊中GLAの駒井さん来所。半田学園の小西喜久代大町まつ代さん二泊。夜間パトロールにも参加する。

▼12月18日(日) ふるさとの家にて協友会クリスマス。約四〇人。釜ヶ崎で活動しているキリスト者が一堂に会するのはまれなので、力強さを感じる。

▼12月21日 アルコール問題研究会。市大本村先生の「断酒会の集団治療的機能をめぐる一考察」の報告。甲東教会婦人会奉仕。

▼12月22日 聖書と心理は、1月13日11時15分~30分MBSテレビ「いま大阪で」の西尾美津江さんの取材。第四回越冬委員会。大阪公園局職員との話し合い。

▼12月23日 西成ベビーセンタークリスマス。大阪教会大飼さん

▼12月25日 山王日曜学校クリスマス。南YMCAの奉仕。

▼次の方から経済協力をいただきました。(敬称略) カトリック正義と平和仙台協議会 叶昌弘 高橋透 高杉津結子 片原真幾子 西尾美津江 黒岩友平 坪田真弓 郡田英三 新美邦弘 伊賀佐与子 浜垣多鶴子 小口てつ 間瀬啓允 杉本登美男 天王寺教会婦人会 八尾美恵子 藤井幸子 石神稔 守谷次郎 牧野寿美 飯島早苗 大野園子 犬飼絵前田ケイ 岡崎静子

ご協力ありがとうございます。 近くの人も 「希望」は 定期でお読みください。

日雇の身に除夜の鐘余韻ありでは、よい年を迎えてください。(重野)